

椎骨脳底動脈解剖に基づく zone 2 TEVAR における 左鎖骨下動脈再建省略戦略の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究実施体制

済生会熊本病院（研究責任者） 心臓血管外科 新富静矢

研究の目的と方法

胸の大動脈に対するステントグラフト治療（TEVAR）では、「左鎖骨下動脈」という血管をどのように管理するかについて、現在も議論が続いています。

場合によっては、この血管の流れを保つために別の血管をつなぐ手術（再建）が行われますが、この手術は体への負担がやや大きくなることがあります。

この研究では、頭へ血液を送る血管の構造をもとに、こうした追加の手術を行わなくても安全に治療できるかどうかを調べます。これにより、将来的により体への負担の少ない治療につながることを期待されています。

なお、この研究では、これまでの診療の中で得られた情報を使用するだけで、新たに検査やご協力をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2013年1月～2026年5月に当院で zone 2 TEVAR 治療を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、採血検査、診療情報、手術情報、合併症の有無、予後（全死亡、大動脈関連イベント）など
使用開始予定日：2026年6月11日

研究予定期間

2026年6月11日～2026年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 心臓血管外科 新富静矢

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用・提供されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用・提供を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 心臓血管外科 新富 静矢

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)